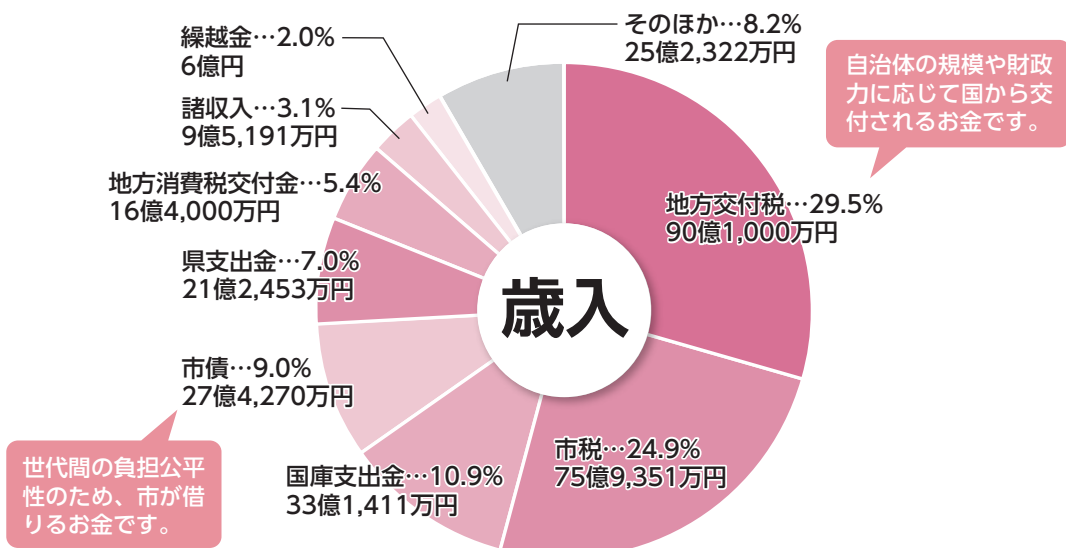
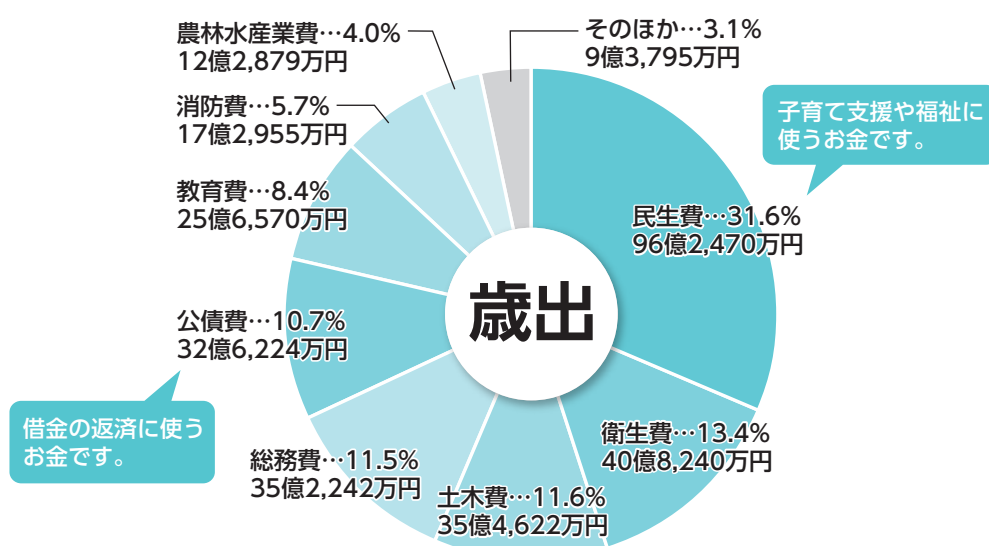


一般会計予算 305億円

前年度比 6.2%増↑



歳入面においては、市税等の増加が見込まれるものの、長期化するコロナ禍や原油価格・物価高騰などの影響も懸念されることから、予算を許さない状況が見込まれる。



歳出面においては、人口減少や少子高齢化対策、安全・安心なまちづくり等を積極的に推進する中、社会保障関係費や公共施設等の維持・更新費用の増加、さらには昨今の社会情勢から、原材料費・光熱水費等の経費増加により財政需要増大が見込まれる。

各会計別の予算

一般 会計	福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行うための会計		令和5年度予算	令和4年度予算
			305億円	287億1,000万円
特別 会計	国民健康保険のように、保険料を徴収して特定の事業に充てている場合など、一般会計と区別する必要がある事業の会計		令和5年度予算	令和4年度予算
			177億4,800万円	177億6,500万円
	内 訳	病院事業債管理	28億3,100万円	25億9,100万円
		国民健康保険事業	84億2,400万円	89億円
		事業勘定	8,000万円	8,200万円
		施設勘定	8億1,000万円	7億8,500万円
		後期高齢者医療	56億 300万円	54億 700万円
企業 会計	民間企業のように、利用料金などの収益で運営している事業の会計		令和5年度予算	令和4年度予算
			34億9,198万9千円	29億6,425万1千円
	内 訳	水道事業	24億9,512万7千円	19億3,139万7千円
		公共下水道事業	8億7,419万3千円	9億1,308万9千円
		農業集落排水事業	1億2,266万9千円	1億1,976万5千円

電子自治体推進

2857万円



タブレット等の機器を導入し、議会をはじめ、庁内会議のペーパーレス化やオンライン会議等の実施に向けた、環境整備を進める。

消防分署庁舎建設

新規 5億1333万円

2か年事業の今年度分



海上分署、飯岡分署を統合し、海上野球場に分署を新築する。これにより海上・飯岡両地域への出動体制の強化が図られる。

出産・子育て応援給付

新規 4427万円



妊娠届出を提出した妊婦一人当たり5万円を給付、出産後に出生した子を養育する者に児童一人当たり5万円を給付する。

学校再編推進

新規 545万円



小・中学校に通学する児童生徒の保護者への説明会やアンケートを実施するほか、地域住民への説明会、地域検討会議、代表者会議等を進める。

中学校ALT配置

5370万円



英語を母国語とする外国語指導助手(A L T)を任用して、各中学校に配置を行い、英語教育の充実を図る。前年度より2名増員。

大原幽学遺跡整備

7237万円



老朽化した大原幽学遺跡の防災設備の更新工事の実施、公園北側駐車場の整備を進める。

スポーツ施設管理運営

新規 1億2257万円



4月より総合体育館や旭市サッカー場などの社会体育施設12施設の管理運営を指定管理者(民間事業者)が行う。

観光資源創出

779万円



観光情報誌やSNS等、様々な媒体を活用して市のPRを行う。今年度は冬期観光PR動画やInstagram広告を作成。

空き家対策

1804万円



空家バンク制度の実施に伴い、空家バンクに登録された物件の改修に補助を行い、更なる空き家等の解消と活用を図る。